



## 平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月9日

上場会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 8008 URL <http://www.yondoshi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO (氏名) 木村 祭氏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務担当 (氏名) 西村 政彦 (TEL) 03-5719-3429  
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	11,216	△1.1	1,196	△10.8	1,512	△11.7	1,043	△12.2
30年2月期第1四半期	11,341	△2.1	1,341	△13.3	1,714	△7.9	1,188	△2.4

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 1,095百万円(△9.4%) 30年2月期第1四半期 1,209百万円(△15.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	40.66	40.63
30年2月期第1四半期	46.59	46.54

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第1四半期	67,070	53,669	79.9	2,086.46
30年2月期	66,321	53,399	80.4	2,077.02

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 53,569百万円 30年2月期 53,299百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	32.50	—	32.50	65.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	37.50	—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,500	0.3	2,300	△4.5	3,000	△1.5	2,100	△3.0	81.82
通期	49,000	2.0	6,150	0.8	7,650	1.2	5,350	1.1	208.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年2月期1Q	29,331,356株	30年2月期	29,331,356株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年2月期1Q	3,656,431株	30年2月期	3,669,847株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年2月期1Q	25,666,849株	30年2月期1Q	25,501,674株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 自己株式数については、当四半期連結会計期間末に4°Cホールディングスグループ従業員持株会信託口が所有する当社株式91,500株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調となりましたが、海外においては政治動向に関する不確実性や地政学リスク等の懸念材料により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

流通業界におきましては、訪日外国人による消費は好調でしたが、消費者の購買行動の多様化や節約志向の継続等により厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、第5次中期経営計画初年度となる2018年度におきまして、引き続き「100年企業」、「100年ブランド」の実現に向けて「人材の育成」、「商品力の強化」、「マーケット動向の把握」に取り組んでおります。そして、信頼性の高い企業グループの構築に向けCSR経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することによって企業価値の向上に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高112億16百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益11億96百万円(前年同期比10.8%減)、経常利益15億12百万円(前年同期比11.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益10億43百万円(前年同期比12.2%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (ジュエリー事業)

ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シィ・プロダクツグループにおきましては、ブライダルジュエリーの回復に時間を要していること等から売上高が計画を下回りました。

その結果、売上高は66億72百万円(前年同期比4.4%減)、営業利益は10億12百万円(前年同期比16.5%減)となりました。

#### (アパレル事業)

アパレル事業におきましては、アスティグループは、企画提案力と生産背景を活かした主力得意先との取り組み強化が奏功し、好調に推移いたしました。㈱アージュでは、主力のデイリーファッション事業「パレット」の出店拡大を進めるとともに販促施策の強化に取り組み、好調に推移いたしました。

その結果、売上高は45億43百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益は2億23百万円(前年同期比31.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、資産は主に、受取手形及び売掛金が7億25百万円、商品及び製品が5億28百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して7億49百万円増加し、670億70百万円となりました。負債は主に、支払手形及び買掛金が3億23百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して4億80百万円増加し、134億1百万円となりました。純資産は前連結会計年度末と比較して2億69百万円増加し、536億69百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月9日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,076,174	2,184,309
受取手形及び売掛金	3,061,207	3,786,524
有価証券	3,950,000	2,800,000
商品及び製品	8,332,336	8,860,619
仕掛品	507,681	468,625
原材料及び貯蔵品	633,136	720,073
その他	988,864	1,235,219
貸倒引当金	△2,686	△5,645
流動資産合計	19,546,714	20,049,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,918,332	5,926,626
土地	5,492,215	5,492,215
その他(純額)	806,838	816,604
有形固定資産合計	12,217,387	12,235,446
無形固定資産		
のれん	4,220,291	4,096,165
その他	122,038	260,434
無形固定資産合計	4,342,329	4,356,600
投資その他の資産		
投資有価証券	25,768,779	26,000,153
退職給付に係る資産	656,629	675,095
その他	3,896,453	3,853,926
貸倒引当金	△107,030	△100,000
投資その他の資産合計	30,214,831	30,429,175
固定資産合計	46,774,548	47,021,221
資産合計	66,321,262	67,070,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,077,362	4,400,730
未払法人税等	856,205	469,469
賞与引当金	251,351	340,298
役員賞与引当金	13,300	14,989
資産除去債務	34,406	33,462
その他	2,806,317	3,199,831
流動負債合計	8,038,943	8,458,780
固定負債		
長期借入金	277,470	277,470
役員退職慰労引当金	416,528	—
退職給付に係る負債	568,010	547,775
資産除去債務	1,012,744	1,031,459
その他	2,608,056	3,086,439
固定負債合計	4,882,809	4,943,144
負債合計	12,921,753	13,401,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,486,520	2,486,520
資本剰余金	18,182,008	18,181,292
利益剰余金	37,503,586	37,687,968
自己株式	△6,310,953	△6,276,308
株主資本合計	51,861,161	52,079,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,425,917	1,458,907
繰延ヘッジ損益	△20,418	△2,973
土地再評価差額金	△161,985	△161,985
為替換算調整勘定	78,638	59,541
退職給付に係る調整累計額	116,129	136,675
その他の包括利益累計額合計	1,438,281	1,490,166
新株予約権	100,066	99,383
純資産合計	53,399,509	53,669,022
負債純資産合計	66,321,262	67,070,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	11,341,837	11,216,103
売上原価	4,734,743	4,718,726
売上総利益	6,607,093	6,497,376
販売費及び一般管理費	5,265,425	5,300,461
営業利益	1,341,667	1,196,915
営業外収益		
受取利息	5,767	9,778
受取配当金	8,157	8,977
持分法による投資利益	331,909	237,235
投資不動産賃貸料	18,285	18,285
為替差益	—	12,642
その他	11,577	31,442
営業外収益合計	375,697	318,361
営業外費用		
支払利息	25	32
投資不動産減価償却費	1,171	1,169
投資不動産管理費用	511	511
保険解約損	—	662
為替差損	454	—
その他	1,179	158
営業外費用合計	3,342	2,535
経常利益	1,714,022	1,512,740
特別損失		
減損損失	5,106	—
店舗閉鎖損失	1,143	—
特別損失合計	6,249	—
税金等調整前四半期純利益	1,707,772	1,512,740
法人税、住民税及び事業税	483,555	459,926
法人税等調整額	36,027	9,104
法人税等合計	519,583	469,031
四半期純利益	1,188,188	1,043,709
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,188,188	1,043,709

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	1,188,188	1,043,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,826	54,870
繰延ヘッジ損益	△11,936	17,444
為替換算調整勘定	△6,613	△19,096
退職給付に係る調整額	10,710	13,979
持分法適用会社に対する持分相当額	55,393	△15,313
その他の包括利益合計	21,727	51,885
四半期包括利益	1,209,916	1,095,594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,209,916	1,095,594
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、従業員に対する中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」を導入し、従業員持株会に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

(1) 取引の概要

当社は、「4℃ホールディングスグループ従業員持株会」(以下「本持株会」という。)に加入する従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者とする信託を設定し、従持信託は5年間にわたり本持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を取得し、その後毎月一定日に本持株会へ売却を行うものであります。信託終了時に、株価の上昇により信託収益がある場合には、受益者たる従業員の抛割割合に応じて金銭が分配されます。株価の下落により譲渡損失が生じ信託財産に係る債務が残る場合には、金銭消費貸借契約の保証事項に基づき、当社が銀行に対して一括して弁済するため、従業員への追加負担はありません。

(2) 信託が保有する自社の株式に関する事項

従持信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末277,662千円、100,600株、当第1四半期連結会計期間末252,545千円、91,500株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金 の帳簿価額

前連結会計年度末 277,470千円 当第1四半期連結会計期間末 277,470千円

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成30年5月17日開催の第68期定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打切り支給額の未払分325,028千円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー事業	アパレル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,978,204	4,363,632	11,341,837	—	11,341,837
セグメント間の内部 売上高又は振替高	804	224,448	225,253	△225,253	—
計	6,979,009	4,588,081	11,567,090	△225,253	11,341,837
セグメント利益	1,212,989	170,745	1,383,735	△42,067	1,341,667

(注) 1 セグメント利益の調整額△42,067千円は、主に各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な減損損失はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー事業	アパレル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,672,336	4,543,767	11,216,103	—	11,216,103
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42	229,860	229,902	△229,902	—
計	6,672,378	4,773,627	11,446,006	△229,902	11,216,103
セグメント利益	1,012,997	223,637	1,236,635	△39,719	1,196,915

(注) 1 セグメント利益の調整額△39,719千円は、のれん償却額△124,126千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△127,973千円、セグメント間取引消去額212,379千円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な減損損失はありません。